

平成30年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文1】

(法文学部)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は3ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

小論文1

次の文章を読んで、問1～2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

松永安光・徳田光弘編『世界の地方創生 辺境のスタートアップたち』より (一部改変)。

(注)

- 1) 篡奪^{さんだつ}・・・帝位を奪い取ること。
- 2) 浩瀚^{こうかん}・・・書籍の多いこと。
- 3) 俯瞰^{ふかん}・・・高い所から見おろすこと。全体を上から見ること。
- 4) ベネフィット・・・利益。
- 5) ヒーリング・・・治療。特に心の病や疲れをいやすこと。
- 6) ラーニング・・・学ぶこと。学習。

問1 下線部「日本国内の同様な地域の地域創生に大きなヒントを与えてくれる」という筆者の主張について、どのような点がヒントになると筆者は考えているか、まとめなさい。

問2 あなたが知っている地域創生の事例を一つ紹介し、筆者が挙げた事例や問1でまとめた「ヒント」を踏まえて、あなたが知っている事例では、今後どのように取り組んでいけば望ましいか、論じなさい。